

党と後援会の総決起集会



連続選挙勝利必ず

苫小牧 党と後援会決起集会

北海道苫小牧市の日本共産党苫小牧地区委員会と苫小牧後援会は9日、「苫小牧地区・党と後援会の総決起集会」を開きました。来年の統一地方選と参院

声援に応える道議・市議・町議候補9日、北海道苫小牧市

選で勝利し、おごれる安倍政権に退場の審判を下そうとの決意がみなぎりました。宮崎有広後援会長（勤医協苫小牧病院院長）は「寒い季節になったが、政治は暖かくなければならない。議会と市民を結ぶ懸け橋の日本共産党を躍進させ、数の力で悪政を強

行する自公政権を少数に追い込みましょう」とあいさつしました。初議席をめざす松橋千春道議候補と市議選での現有5議席確保へ小野寺幸恵、富岡隆、工藤良一、原啓司の4現職と新人の森本健太郎地区青年学生部長、厚真町議選で現職の伊藤富志夫町議、10月の白老町議選の森哲也町議が紹介されました。代表して森本氏が決意

を述べました。松橋氏は、カジノ誘致と消費税10%増税を批判し、「生きにくい『自己責任』を押しつける安倍政治から、憲法を守り生かし、平和に安心して暮らせる政治の実現へ頑張ります」と表明しました。青山慶二党道委員長が連続選挙の目標と構えを報告。西敏彦地区委員長が行動提起し、全員で団結がんばろうを唱和しました。